

令和 5 年度 自殺対策事業実施計画

事業目的・概要

市民の誰もが自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指し、共に生きることを支える取組を包括的に推進していくために、「自殺対策についての基本認識」を踏まえ、「調布市自殺対策計画」策定した。

関連計画

調布市自殺対策計画

【計画期間】

平成 31 年度～令和 6 年度

【基本方針】

- 1 こころの健康を維持・増進する（未然予防）
- 2 悩んでいる人が適切につながり、支援を受けられる連携体制を構築する（危機介入）
- 3 自殺未遂者・遺された人への支援を推進する（連鎖予防）

【基本施策】

- 1 生きることの促進要因への支援
- 2 自殺対策を支える人材の育成
- 3 地域におけるネットワークの強化
- 4 住民への啓発と周知

事業内容

1 人材育成（基本施策 2，4）

(1) 専門職を対象としたゲートキーパー養成講座の実施

昨年度、市内小中学校の教職員を対象とした養成講座を実施。自殺防止対策に関する知識等を伝えるとともに、「生徒の SOS にどう気づくか」という内容をテーマに実施した。今年度も、子ども・若者支援として、それに関わる関係者向けの講座を検討している。

(2) 市民を対象としたゲートキーパーに関する講座の実施

昨年度、中高生の保護者向けに「子どもの SOS にどう気づくか」という内容をテーマで講演会を動画配信した。周知方法として、チラシ等のほか市教育委員会と連携し、「学校安心・安全メール」で周知した。今年度、その内容の続編として、子どもからの SOS に気づけるような内容の講演会を検討中。実施方法は、市民の方も参加しやすい動画配信を検討中

(3) 職員を対象としたゲートキーパー研修の実施

現在、市民を対象に配信中の動画を職員に配信するとともに、内容を理解していただけただけかクイズによる確認等の実施を検討している。

(4) ゲートキーパーの役割についてミニ講話（チラシの配布）の実施

民生児童委員、幼稚園・保育園等に出向く保護者向け健康教育等でミニ講話を実施
また、窓口や母子保健事業等様々な場面での啓発を継続していく。

2 地域のネットワークの強化（基本施策3）

- (1) 次期計画改定に向けて今年度実施する市民意識調査の結果を共有し、来年度の計画改定に向けて課題を共有する。
- (2) こころといのちのネットワーク会議を開催し、地域の課題を共有する。
- (3) 各相談・支援機関との連携を強化して複合的課題を抱える人に対応をする。

3 普及啓発活動（基本施策1，4）

- (1) 自殺対策強化月間に合わせたパネル展示とリーフレット配架等による啓発
自分の心のサインに気づき、相談できるよう相談機関の周知を行う。
市民の目に触れ、手にとれるところにポスターやリーフレットを配架・配布する。
- (2) こころの体温計のシステムを利用して啓発を行う。
市民は自分自身の状況を振り返ることができ、結果により、身近な相談窓口の紹介を受けられる。

4 市民意識調査の実施

- (1) 来年度の計画改定に向け、今年度は市民意識調査を実施。
- (2) 今回の市民意識調査の特徴
 - ア 調査対象者を18歳以上から16歳以上に引き下げた。
 - イ 回答率を高める工夫として、ウェブ回答も併せて実施かつ封筒に回答用QRコードを印字
 - ウ SNSに関する選択肢等を追加